

# 「e-Symphony」 世界中の学生とのオンラインオーケストラ

私たちは、世界中の学生とのオンラインオーケストラを、e-Sportsになぞらえて「e-Symphony」と名付けました。  
9月27日には2025年大阪・関西万博で行います！そこでは、次の4つの魅力が詰まった演奏をお届けします。

- 1. 世界中の学生**

様々な価値観や背景を持った、普段関わることのない世界中の学生が出会い、共に音楽を奏でることで「UNITY」を表現します。
- 2. 時間や場所を問わない**

万博での演奏当日に参加できない学生には、動画や録音で参加してもらうことによって、いつでも、どこでも、誰でも「e-Symphony」に加わり、「UNITY」の一員になれるようにします。



※e-Symphonyイメージ図

- 3. 多種多様な楽器**

阪大発のスタートアップ企業eMotto社が開発した新型電子楽器「ParoTone」を中心とし、世界の様々な楽器を用いた演奏を行います。
- 4. 演奏者も観客も**

演奏している映像を会場に投影することで、来場者も巻き込んだ没入感のあるパフォーマンスを行います。また、演奏者以外の方には手拍子で参加してもらい、会場全体で一体感を作ります。

## a-tune × SDGs

a-tuneは、SDGs万博とも言われる2025年大阪・関西万博とSDGsそれ自体に、活動を通して貢献しています。



誰でも気軽に音楽で交流ができるよう、阪大発スタートアップ企業のeMotto社と連携し、初心者でも直感的に演奏できる新型電子楽器ParoToneを、演奏楽器の一つとして用います。



※ハードウェアの他に、iOS版のアプリもリリースしている。



こちらから、演奏の様子をCHECK!



人々に音楽を用いた交流機会を平等に提供するために、楽器を弾くことが苦手な方や未経験者には、ParoToneを使ってもらうことで、演奏者として「e-Symphony」に参加してもらっています。



※ハードウェアをパソコンに繋ぎ、演奏会を実施。



※学祭や体験会ではアプリ版を使用。楽器経験の有無を問わず多くの人が音楽を楽しめる。



人種差別や戦争などがなくなり、人々がお互いを尊重しあい、団結することで、活動理念「UNITY」を実現できると考えています。



※定期的な海外学生との交流会の様子。互いの国の文化を反映した楽曲を演奏し合い、相互理解を深めている。



世界中の人々と共に音楽を奏で、「UNITY」を実現させるため、私たち学生が中心となってパートナーシップを發揮し、「e-Symphony」を実現することで、SDGs達成に貢献します。

### 団体情報

団体名称：a-tune (ええちゅーん)  
所属：大阪大学2025年日本国際博覧会推進委員会学生会部会  
Email：expo2025students@gmail.com  
Tel：06-6879-4122

活動拠点：大阪大学大学院工学研究科  
国際交流推進センター  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1  
大阪大学吹田キャンパスバイオテクノロジー国際交流棟1F



公式HP及びSNSはこちらから！

ええちゅーん  
a-tune  
go for EXPO 2025

# 「音楽」で 世界をつなぐ

広報誌vol.7



MEET ME AT  
EXPO 2025!

# 音楽 × 国際交流 × 万博



「各個人が自分とは異なる相手の立場、背景を尊重しあえる社会」

私たちa-tuneは、大阪大学2025年日本国際博覧会推進委員会学生部会のもと、2020年に発足しました。「新型コロナウイルスという世界共通の壁を前にしてもなお、なぜ人々は団結できないのか。」発足直後学生の社会貢献について海外の学生と議論した際、私たちはこのような疑問を抱きました。世界は今、コロナや戦争など、人々を分断させる様々な問題に直面しています。そこでa-tuneは、学生を中心とした、国籍や背景の違いによらず互いを尊重し協力しあえる人々の繋がりを創りたいと考えました。これが実現した社会を「UNITY」と定義し、活動理念として掲げています。

## 「音楽」で世界をつなぐ。

私たちは、音楽をコミュニケーションツールとした、新しい交流の場を作っています。あらゆる言語の違いを越え人々を楽しませる力がある「音楽」で人々が繋がることで、活動理念「UNITY」が実現できると確信しています。そこで、2025年大阪・関西万博においてそれが実現した一つの形を発信し、さらに「UNITY」のコミュニティの輪を広げていきたいと思っています。

学生にしかできないことを、万博で世界にアピールする。



## Music



私たちa-tuneは、言語の壁を越えることのできる「音楽」を用いた国際交流を行っています。その1つとして、海外の学生とオンラインで繋がって合奏する「e-Symphony」を主な活動としています。

2024年12月には、「e-Symphony for 2024～toGather～」を開催しました。ドイツ、ベトナム、フィリピン、新潟、大阪の5拠点を繋ぎ、時差や学業などの理由で当日の演奏が叶わなかった学生による録画含め、合計26の国と地域から59人の学生とともに演奏しました。(左写真)

9月27日には、大阪・関西万博の会場である夢洲のフェスティバル・ステーションで「e-Symphony in EXPO 2025～Music Unites the World～」を開催します！現在は、多くの海外学生と一緒に良い「e-Symphony」を開催できるよう、取り組んでいます。

## International Exchange



月に1回オンラインで海外メンバーとの交流会を行っています！インドネシアやタイ、ドイツなど、様々な国の学生が参加しています。ゲームや「UNITY」に関する議論を通して、相互理解を深めています！また、「e-Symphony」に向けた演奏練習も行っています。(右上写真)

「e-Symphony」を行うための演奏拠点が、フィリピン、ベトナム、ドイツにあります。2024年9月には、デ・ラ・サール大学（フィリピン）と、ハノイ工科大学（ベトナム）を訪れ、オンラインで接続して演奏する際の体制を強化しました。また、万博での「e-Symphony」の開催をともに目指す仲間を集めるためにイベントを開催し、新たに14人の学生がメンバーになりました。(右下写真：デ・ラ・サール大学（フィリピン）)



## EXPO 2025

2022年末には「万博からSDGsにつなぐ～UNITYでつくる未来社会～」と題し、万博と絡めたa-tune主催の学生シンポジウムを開催しました！「UNITY」の理念に共感する海外学生7人、国内学生8人が参加しました。「UNITY」やSDGsに関して、予想以上に多くの意見や質問が飛び交い、白熱した議論となりました。(右上写真)

2023年9月には、万博の描く未来の中心となるZ世代と万博に参加する企業や団体と考えて語り合うことを目的としたイベントである「日経EXPOフォーラム」に参加しました。活動紹介のほか、ドイツに出張中だったメンバーをオンラインで繋ぎ来場者と交流しました。私たちが描く「UNITY」が実現された未来と、万博の描く未来の親和性の高さによって多くの共感が集まり、さらなる活動の原動力になりました！（右下写真）



## Activities



**定例ミーティング**  
万博に向けた自分達のビジョンについて議論したり、イベントに向けた準備を進めたり、みんな楽しく活動しています♪ドイツやインドからの留学生もメンバーとして活動しており、国際色豊かです！



**クラウドファンディング**  
2024年3月～5月、「e-Symphony for 2024～toGather～」を開催するために実施しました。140名の方から約300万円のご寄付をいただき、とても良いイベントを開催することができました。

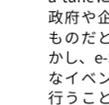


**シンポジウム登壇**  
学外のシンポジウムに登壇することも多くあります。私たちの万博に向けた取り組みの発表に加え、他の登壇者と交流する時間もあり、良い刺激となっています。2024年7月に行われた日経STEAMでは、クリエイティブ賞を受賞しました！

## a-tuneメンバーの声



普通に過ごしていたら出会えなかったような人と交流でき、とても楽しいです！特に、留学生と交流する機会が多くあり、英語力が以前よりも上がった気がします。また、a-tuneに入らなければ経験できないような沢山のことにチャレンジすることができました！



a-tuneに入るまでは、万博は政府や企業の大人たちがやるものだと思っていました。しかし、e-Symphonyという社大なイベントを、万博で学生が行うことにとってもワクワクしています。万博で実現するのが今から楽しみです！